

令和元年度 事業報告

令和元年度の我が国経済は、海外経済の減速等を背景に外需が弱いものの、雇用・所得環境の改善等により、内需を中心に緩やかに回復していました。

令和元年 10 月に実施した消費税率の引き上げに当たっては、経済の回復基調に影響を及ぼさないといった観点から、軽減税率制度や臨時・特別の措置など各種の対応策も実施されています。

今後についても、緩やかな回復が続くことが期待されていたところ、昨年 12 月中国武漢で発生した新型コロナウイルスが、瞬く間に日本全国に拡散し、日本の経済活動は停滞し、日本企業の業績は大きな影をおとしました。特にインバウンドの各業界は、中国や韓国等の観光客が激減し、大打撃を受け、先が見通せない状況にあります。

このような中であっても、成長力を確保していくためには、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が年齢にかかわらず活躍できる「生涯現役社会」を実現することがますます重要となっています。当センターでは、昨年 3 月に策定しました中期計画により地域ニーズに対応して請負・委任業務の従来の受託事業にとどまらず人手不足分野への取り組みとして、地元企業に向けた派遣事業の取り組みを強化してきました。

しかしながら、定年延長制度の市内企業への浸透に伴い、新規入会される会員の確保が困難を極める厳しい状況でした。

以下、令和元年度に実施した主な事業について報告します。

1 会員の状況

市内の各地区公民館に会員募集のチラシ配布、会報の配布や黒部市老人クラブ連合会スポーツ大会会場等での会員募集（チラシとティッシュ配布）、会員募集チラシの新聞折込み（2 回）、高齢者活躍人材育成事業技能講習会案内ポスター掲示、入会説明会（定期 12 回・臨時 12 回）などの取り組みにより新入会員は 27 名でしたが、退会者 10 名、資格喪失者 8 名となり、令和元年度当初の会員数 240 名から 9 名増加し 249 名（対前年度比 103.8%）となりました。

また、全会員を対象にセンターが保管する会員票の記載内容に変更（緊急連絡先の変更、希望職種の変更等）調査をおこない希望職種を変更された会員には、新たな情報に基づき就業機会の提供に努めるとともに会員を対象にした個別の就業相談会を開催し、就業のチャンス

が無い方や少ない方、仕事の内容等で困っている事案等について相談や対応等について協議しました。

また、女性会員の親睦や交流及び会員拡大を図るため、「ハーバリウム講習会」「しめ縄飾り作り講習会」を開催しました。

2 センター事業の実績

チラシの新聞折込（2回）、会員による受注拡大、イベント会場やボランティア活動によるセンター事業普及啓発、市内企業を訪問するなど受注の拡大に取り組みました。

① 受託事業の実績

受託件数は、前年度比 304 件減少の 5,401 件（対前年度比 94.7%）、契約金額は前年度比 444 万円減少の 9,822 万円（対前年度 95.7%）でありました。

② シルバー派遣事業の実績

受注件数は、対前年度比 10 件増加の 64 件（対前年度比 118.5%）また、会員賃金及び手数料合計は対前年度比 431 万円増の 4,015 万円（対前年度比 112.0%）でありました。

<参考>

（単位：万円）

区 分		平成 30 年度	令和元年度	比較増減
受託事業契約金額		10,266	9,822	△444
シルバー 派遣事業	賃 金	3,181	3,564	383
	手数料	403	451	48
合 計		13,850	13,837	△13

備考：センターの経常収益には、シルバー派遣事業の「賃金」は含まれません。

3 自主・自立の組織づくり

理事（役員）会は6回開催し定時総会に付議する重要議案の審議等の協議を行うとともに、事業、予算の執行状況の調査等適正な運営に努めました。また、会報編集委員会、就業開拓・会員拡大委員会等を適宜開催し、付託された事項について協議しました。

センター事業の就業については、リーダー（班長）を中心としたグループ就業の確立に努めました。

また、会員の意見、提言をセンター事業に活かすため、11 会場で地区懇談会を開催し、センター事業の現況説明、意見交換を行いました。

4 安全・適正就業の推進

「安全は全てに優先する」を合言葉に、「安全・安心なシルバー事業」の構築を図っていくために、理事会や会報等で事故の発生状況を報告し、会員一人ひとりの安全就業に対する自己啓発安全意識の高揚に努めました。

県シ連と合同で安全パトロール等を実施し、安全就業基準の徹底を図るとともに、就業に係る苦情、傷害・損害賠償事故を取りまとめ、会員に周知し情報の共有化を図り事故「ゼロ」を目指し、自己の未然防止・再発防止に向けた就業活動に取り組みました。また、県シルバー連合会で開催される安全・適正就業対策推進研修会に積極的に参加して、会員の就業実態を調査し事故件数の削減に向けた取組強化や安全意識の啓発促進に努めました。

5 就業開拓・会員拡大の推進

会員拡大を図るため、会員による1人1会員入会運動として会員紹介カードの取組みを行いました。

シルバー事業普及啓発チラシの充実を図り、新聞折り込みや市内の事業所等を訪問して、新規就業先の開拓等に努め、派遣就業事業等の推進を図りました。

6 事業運営の効率化

センター事務局5人体制で、事務分掌の検証・見直し事務の効率化や組織の活性化や管理経費削減等を行い、持続的に事業運営を行うよう基盤の安定化に努めました。

<基本事項の実施状況>

【会議の開催状況】

- | | |
|-----------------|-----|
| ・理事（役員）会 | 6回 |
| ・地区懇談会 | 11回 |
| ・会報編集委員会 | 4回 |
| ・就業開拓・会員拡大委員会 | 1回 |
| ・職務班（安全就業研修会）会義 | 7回 |

【事業の普及啓発活動】

- ・当センターの会報くろべがわを年2回発行
- ・当センター ホームページを年3回更新

- ・新聞折り込みチラシ（お仕事の手伝い、会員募集） 年2回
- ・センター啓発のボランティア清掃活動 1回
- ・市内イベント会場でセンター事業の普及啓発 2回

【会員の増強】

- ・毎月第二火曜日の定時入会説明会、臨時の説明会の開催
※参考 令和元年度 24回 38人参加)